

平成30年度 第1回下野市小中一貫教育推進協議会 議事録

審議会等名 平成30年度 第1回下野市小中一貫教育推進協議会
日 時 平成30年9月25日(火) 午後2時00分～午後3時40分
会 場 下野市役所 2階 203会議室
出席者 宮川長一 委員、阿嶋敬一 委員、梶原和子 委員、石崎雅也 委員、
永山一夫 委員、福田白 委員、大塩宗里 委員、五十嵐早苗 委員、
伊沢幸子 委員、小谷光子 委員、小野瀬善行 委員、
渡辺欣宥 委員、松本文男 委員
【欠席委員】 小林幸代 委員、阿久津信博 委員、
市側出席者 池澤勤 教育長、
(事務局) 海老原忠 学校教育課長、
田澤孝一 学校教育課主幹兼課長補佐兼指導主事、
西松治彦 同課主幹兼課長補佐、稲葉亜希恵 同課主幹兼指導主事、
稲見雄太 同課主幹兼管理主事、
上野保久 小中一貫教育統括コーディネーター
公開・非公開別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)
傍聴人 0人
議事録(概要) 作成年月日 平成30年10月1日

【協議事項】

1. 開会(海老原課長)

2. 教育長あいさつ(池澤教育長)

本日はお忙しい中、ご出席ありがとうございます。委員の皆さまには各組織の代表としてお願いしました。全国的に子どもが減少していますが、本市も同様の状況です。このような中、市では小中連携教育を進めてきました。義務教育9年間で子どもたちが安心して学べる場を作ってきました。今年度、各校に設置した学校運営協議会によってさらに地域の皆さんの力をお借りし、良い環境の中で子どもたちを育てていきたいと思っております。本協議会は、市の小中一貫教育の推進を検証する機関です。どうぞお願いします。

3. 委員紹介(自己紹介)

4. 会長、副会長選出

(海老原課長) 下野市小中一貫教育推進協議会設置要綱第5条第1項に「協議会に会長及び副会長を置く」、第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める」とある。会長が選出されるまで、教育長に進行をお願いします。

(池澤教育長) それでは、会長が選出されるまでの間、進行する。本協議会の会長、副会長の選出に入る。設置要綱第5条第2項の定めにより、委員の皆様は互選となるが、いかがか。

(委員) 事務局一任

(池澤教育長) 委員より、「事務局一任」との声があった。皆様いかがか。

(委員) 異議なし。

(池澤教育長) 事務局案はあるか。

(田澤課長補佐) 事務局案として、宇都宮大学教育学部准教授の小野瀬委員を会長に、石橋中学校学校運営協議会代表者の大塩委員を副会長に推薦したい。

(池澤教育長) 皆様、いかがか。

(委員) 異議なし。

(池澤教育長) それでは、会長に小野瀬委員、副会長に大塩委員に決定する。

5. 議事

(1) 下野市小中一貫教育推進協議会設置要綱について

(小野瀬会長) 本協議会の設置要綱等について事務局より説明をお願いします。

(西松課長補佐) [資料1：要綱及び資料2：会議運営に関する確認事項について説明]

(2) 下野市小中一貫教育推進協議会設置の趣旨について

(小野瀬会長) 下野市小中一貫教育推進協議会設置の趣旨について事務局より説明をお願いします。

(田澤課長補佐) 市では、平成20年度から取り組んだ小中連携教育を充実、発展させ、下野市ならではの小中一貫教育を進めていきたい。将来的には、幼、小、中、高までを含めた一貫教育に発展させたい。本協議会では3つの内容についてのチェック機能や提案・提言をしていただく。1つめとして、市で進める小中一貫教育の3形態として、分離型、隣接型、施設一体型の義務教育学校での進め方についてチェック、2つめは、地域とともにある学校を目指す上での方向性や取組について、最後に3つめは、新たな展開へ向けた提案・提言をいただく。それらについて協議していただきたい。協議いただいた内容を市全体や各中学校区の今後の実践に生かしていきたいと考えている。

(3) 下野市小中一貫教育ハンドブック（試案）について

(小野瀬会長) 下野市小中一貫教育ハンドブック（試案）について事務局より説明をお願いします。

(田澤課長補佐) [下野市小中一貫教育ハンドブック（試案）の概要説明]

(伊沢委員) 小中一貫教育を進めるうえで、中学生が小学生に、高学年が低学年に等、自らの知識を年下の子に教える場を作ってもらいたい。また、不登校の子に対し適切な指導を行ってもらいたい。さらに、これまでも取り組んできた地域の方が学校に顔を出す事業等を継続してもらい、交流をより深めてもらいたいと思う。

(小野瀬会長) ハンドブック（試案）は、詳細に作られて良い。一方で市民の方が見た時に、どこを見ていいのか困惑するかもしれない。より強調したい部分を示す必要があるのかと思う。

(大塩副会長) 細かく作られていて大変素晴らしい。私たちがどんな形で小中一貫教育に協力していけるのかと考えた。下野市では、平成20年度からファミリーエ教育活動を始めている。この活動は、私たちも協力できると思う。

(4) 各中学校区全体構想図（グランドデザイン）について

(小野瀬会長) 各中学校区全体構想図（グランドデザイン）について、各中学校区の委員である校長先生より説明をお願いします。

(各学校区委員) [各中学校区全体構想図の概要説明]

(伊沢委員) 子どもたちには、一人ひとり夢を持ってもらいたい。将来の目標があると、具体的に何をやったら良いか見えてくると思う。勉強の幅も広がる。ぜひ、子どもたちにそれらを指導してもらいたい。

(5) その他

(小野瀬会長) 小中一貫教育統括コーディネーターより、各中学校区の取組について報告願う。

(上野コーディネーター) 各中学校区とも年6～7回、小中一貫の日を予定している。すでに3～4回終わった。各学校区、地域連携教員や教務主任等のプロジェクト委員を中心に小中一貫教育推進の組織づくりが進んでいる。リーダーとなる先生方の頑張りを感じた。回を重ねるごとに各学校区の特色ある取組が実践され、成果が期待できる。

(小野瀬会長) 以上、終了する。